

工事の げんば 現場より



今はこんな様子だよ。



6月2週目

素屋根に覆われた内部では、建物が地震に耐えられるように「耐震補強」の工事を行っています。この工事では壁を頑丈にする工事を行いますが、それにより地震の横揺れに押されて壁が浮き上がることが懸念されます。その対策として、足元に浮き上がり防止のための重石を設置します。重石は鉄筋コンクリート製で、建物内外の観覧に支障が無いよう床下に設けられます。設置した重石が床下の通風を妨げないように、なるべく面積を狭くする一方で、必要な重量を確保するために深く設計されました。現在は重石設置のための掘削作業を行っています。



床の間下の重石設置箇所掘削の記録。地下に重要な遺構・遺物などが無いか確認しながら丁寧に掘り進めました。

今回工事における耐震壁設置工事の方策

現在の壁 (木摺壁)

弱い壁

強い力に耐えきれず壊れてしまうかも

耐震壁 (構造用合板)

強い壁

頑丈なので壊れない

※表面の見た目はあまり変わりませんが、ここでは分かりやすくするため色を変えています。

耐震壁にする壁 (工事前: 木摺壁)

下に重石を設置する

壁は壊れないが、力に負けて壁ごと浮き上がってしまう可能性がある

地下に鉄筋コンクリートの重石を設け、重石と壁をつなぎ、浮き上がりを防ぐ